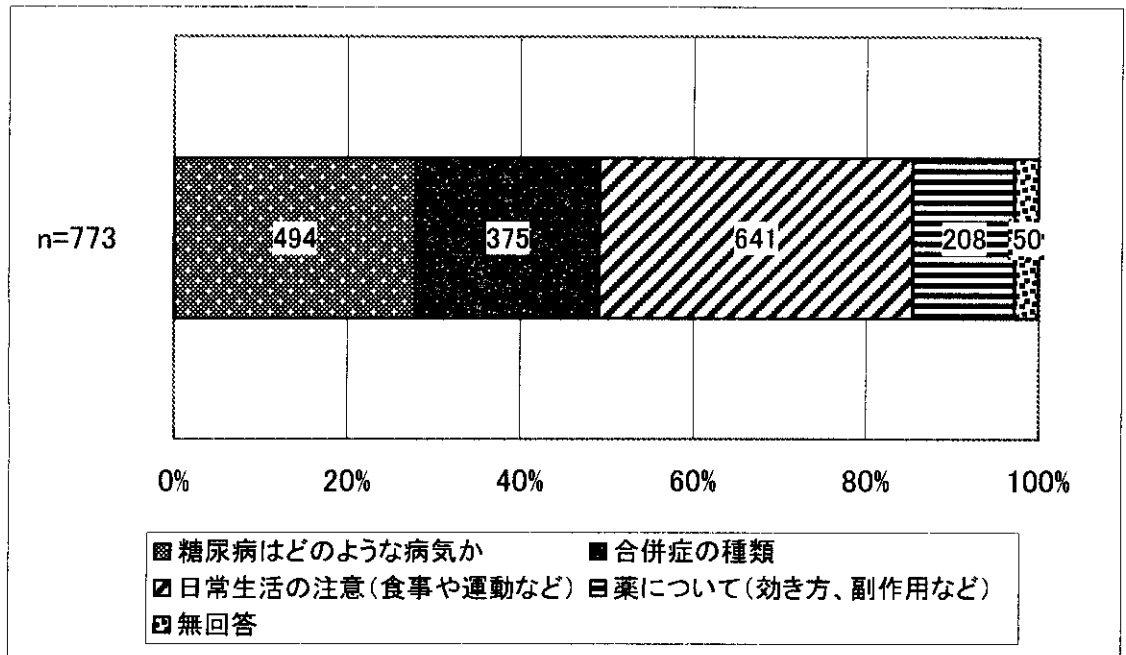
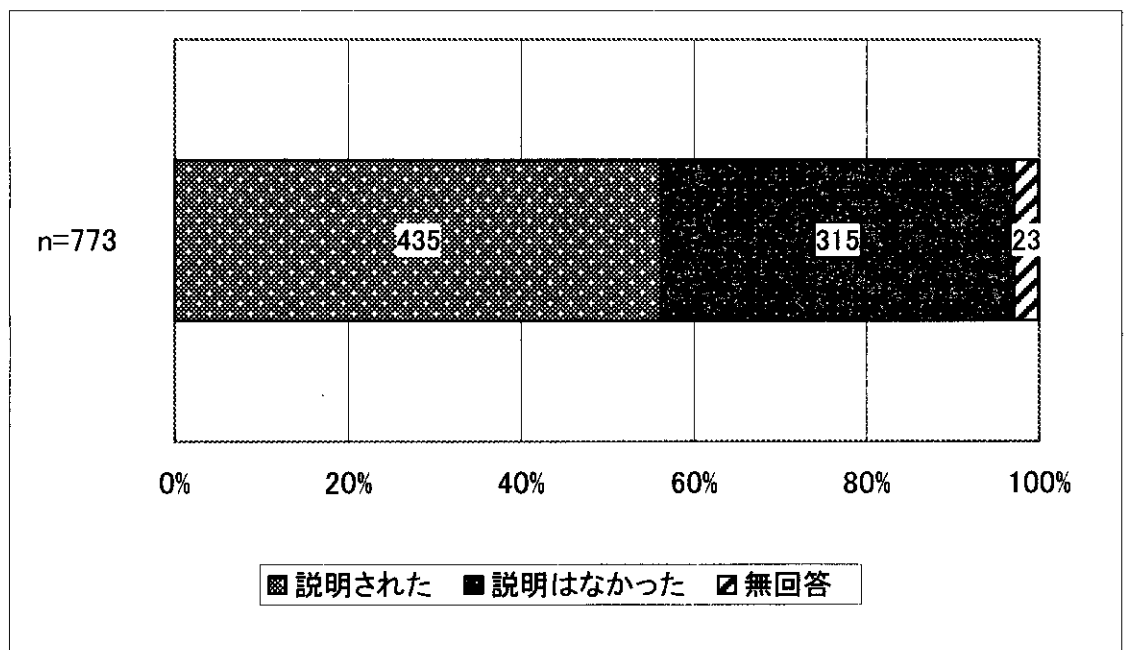


質問3 糖尿病（または疑い）といわれた時に受けた説明



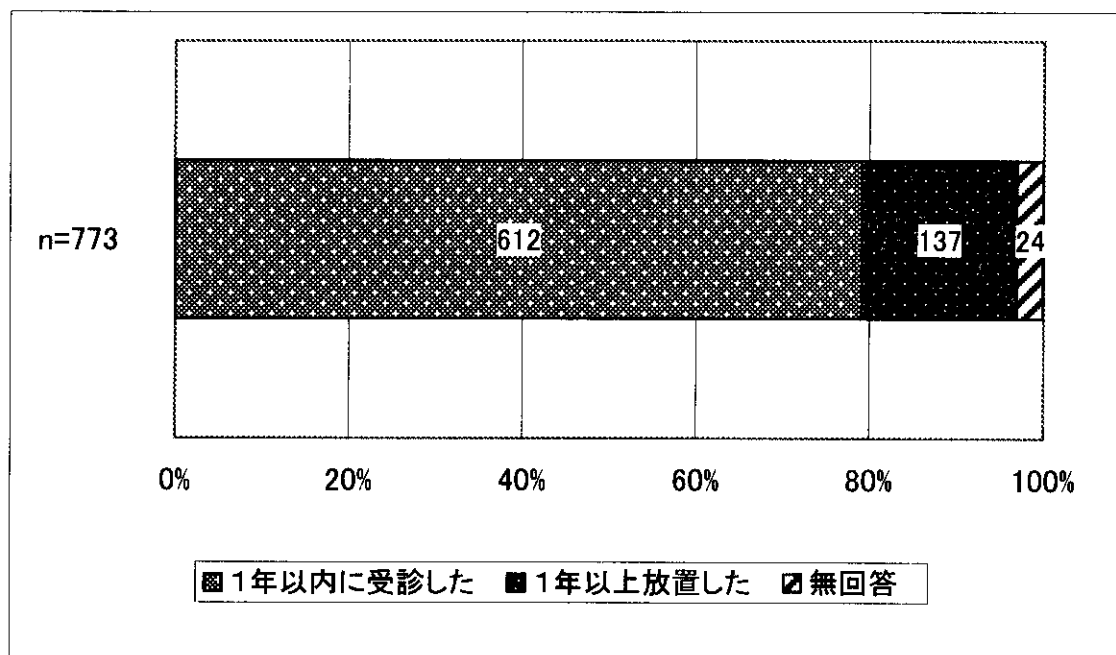
はじめて糖尿病（または疑い）といわれた時に受けた説明は、「日常生活の注意（食事や運動など）」が82.9%と最も多く、次いで「糖尿病はどのような病気か」が63.9%となっている。

附問3-1 糖尿病網膜症の説明



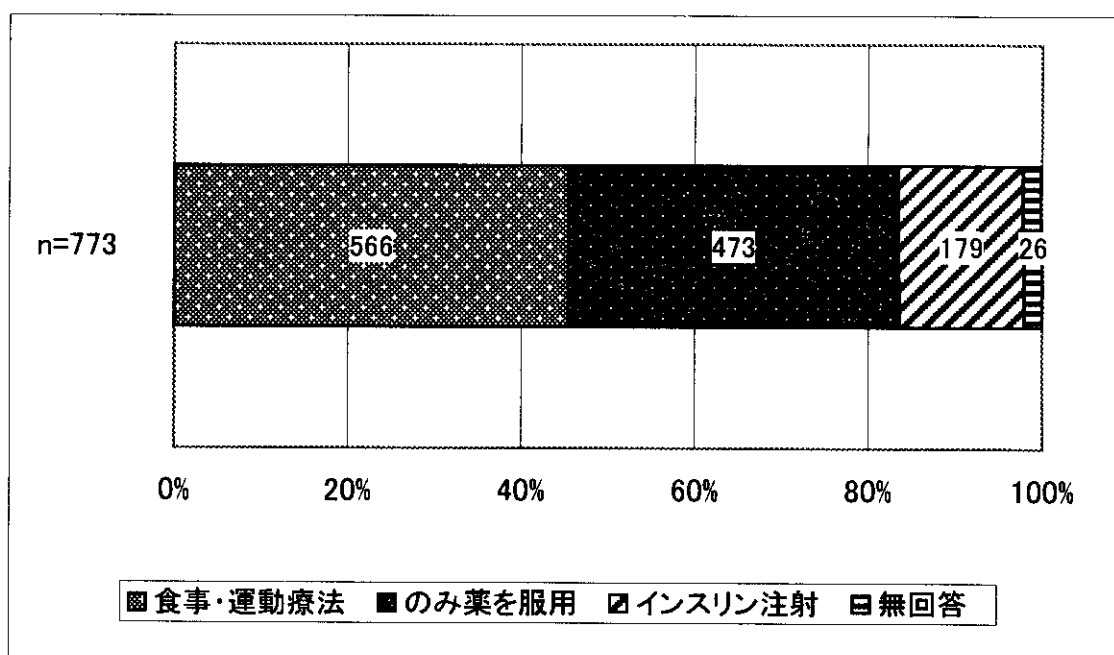
はじめて糖尿病（または疑い）といわれた時の糖尿病網膜症の説明については、「説明された」が56.3%、「説明はなかった」が40.8%となっている。

質問4 糖尿病といわれてからの医療機関受診時期



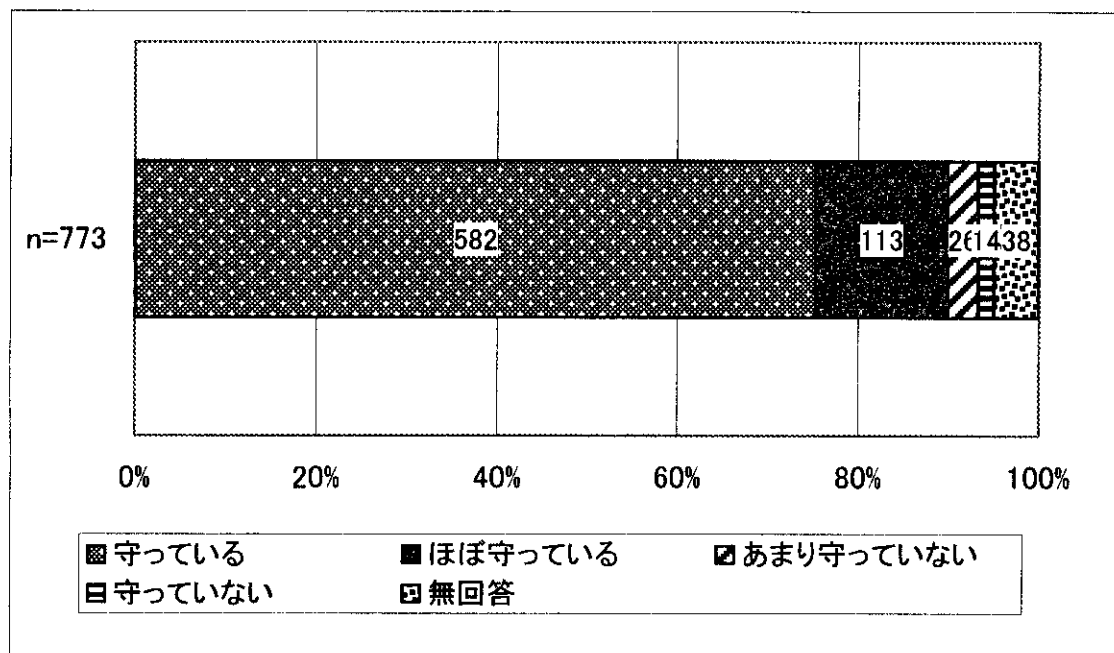
糖尿病といわれてからの医療機関受診時期は、「1年以内に受診した」が79.2%、「1年以上放置した」が17.7%となっている。

質問5 かかりつけ医で受けている糖尿病治療



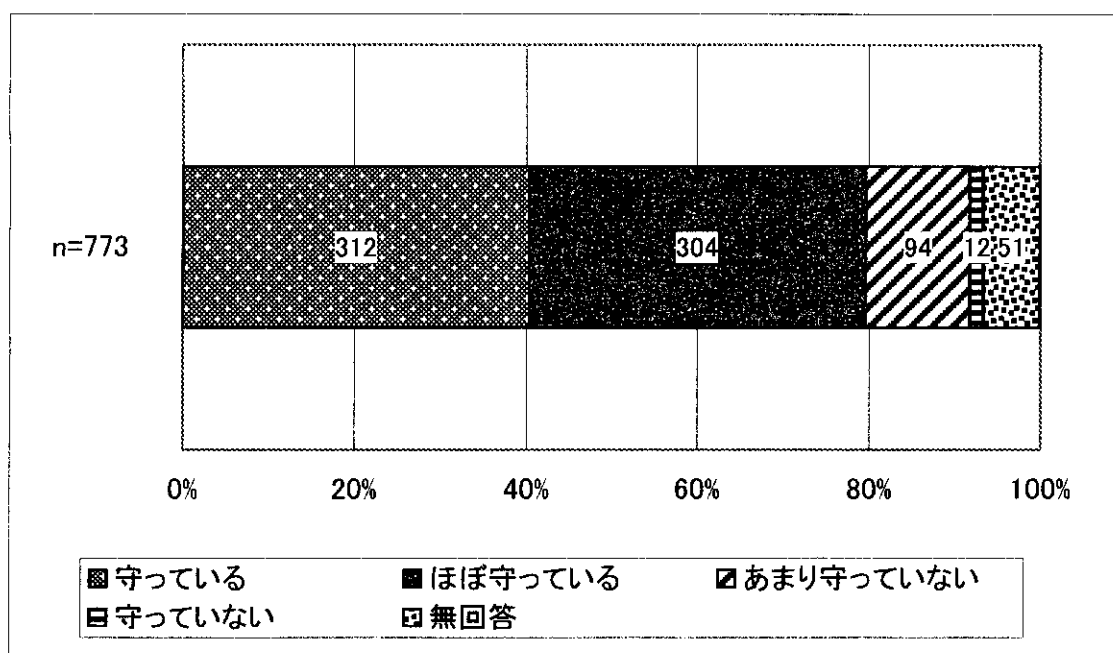
現在、かかりつけ医（内科）で受けている糖尿病治療は、「食事・運動療法」が73.2%と最も多く、次いで「のみ薬を服用」が61.2%、「インスリン注射」が23.2%の順となっている。

質問6① 内科かかりつけ医への通院間隔



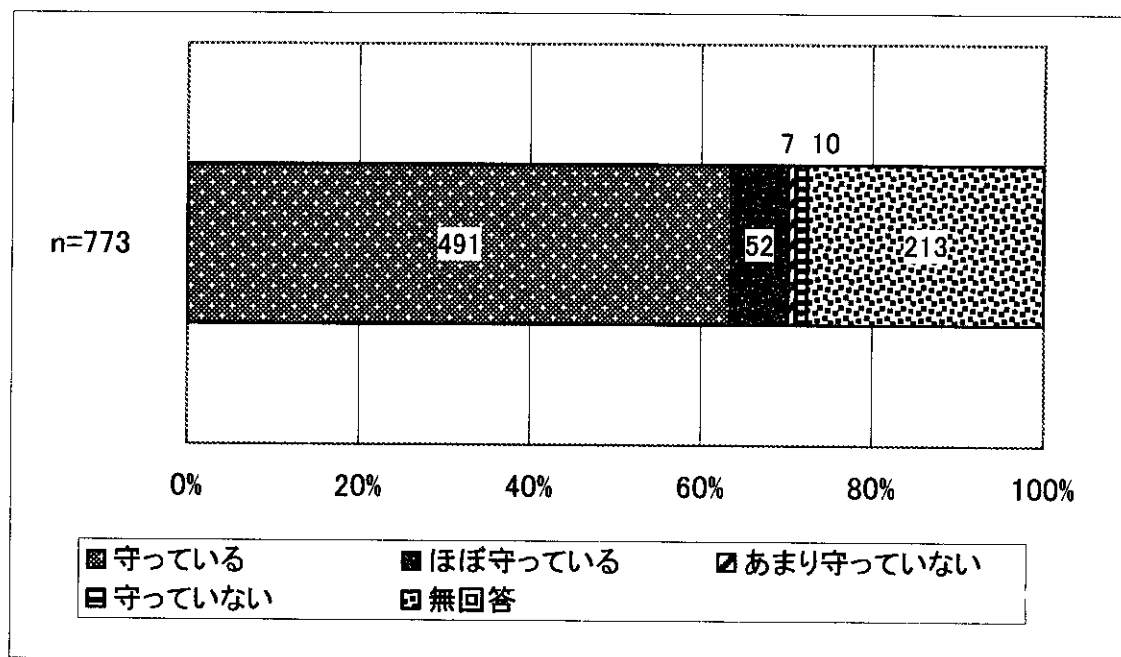
内科かかりつけ医への通院間隔は、「守っている」が75.3%と多く、次いで「ほぼ守っている」が14.6%となっている。「(ほぼ)守っている」は89.9%、「(あまり)守っていない」は5.2%である。

質問6② 食事・運動療法



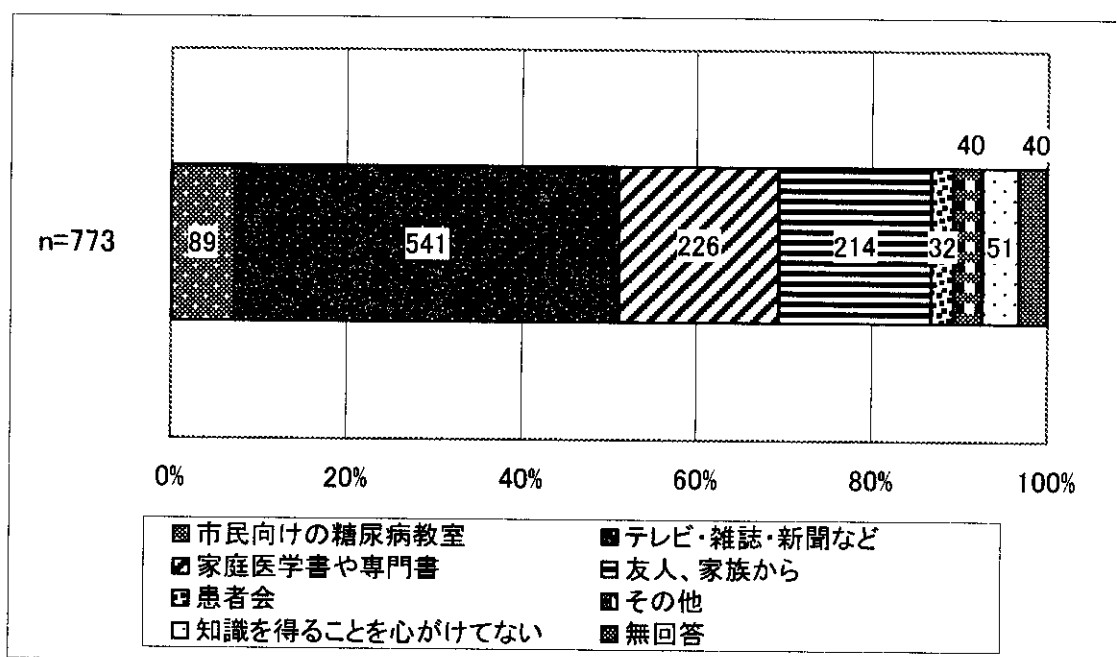
食事・運動療法の指示は、「守っている」が40.4%、「ほぼ守っている」が39.3%などとなっている。「(ほぼ)守っている」は79.7%、「(あまり)守っていない」は13.7%である。

質問6③ 服薬・インスリン注射



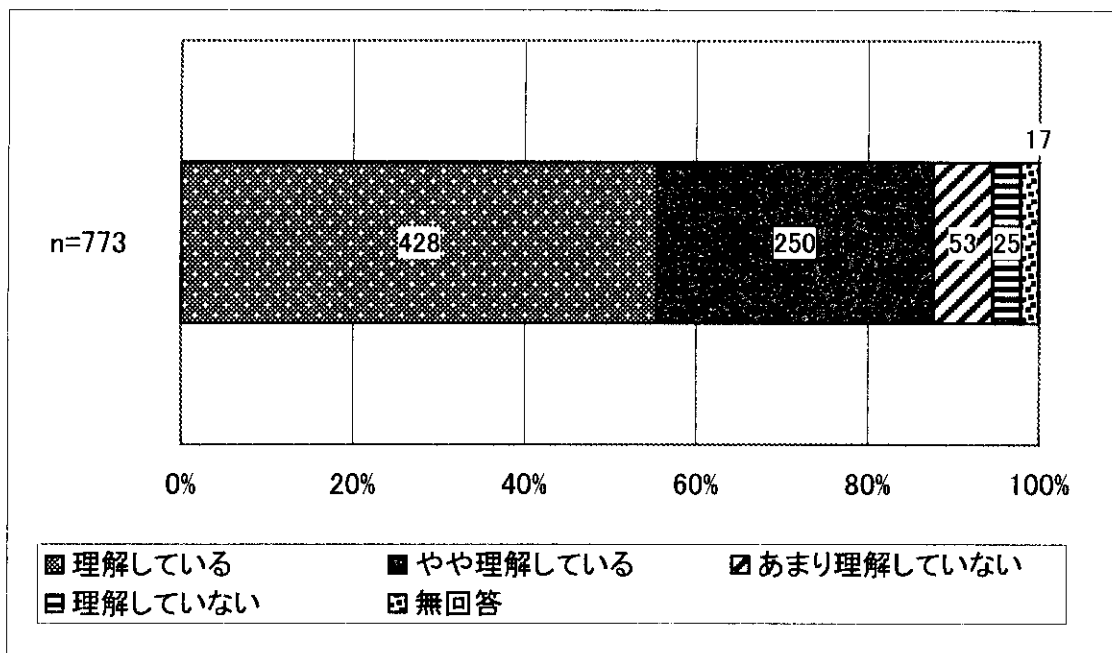
服薬・インスリン注射の指示は、「守っている」が63.5%と多く、次いで「ほぼ守っている」が6.7%となっている。「(ほぼ)守っている」は70.2%、「(あまり)守っていない」は2.2%である。

質問7 診療以外で糖尿病について知識を得ているところ



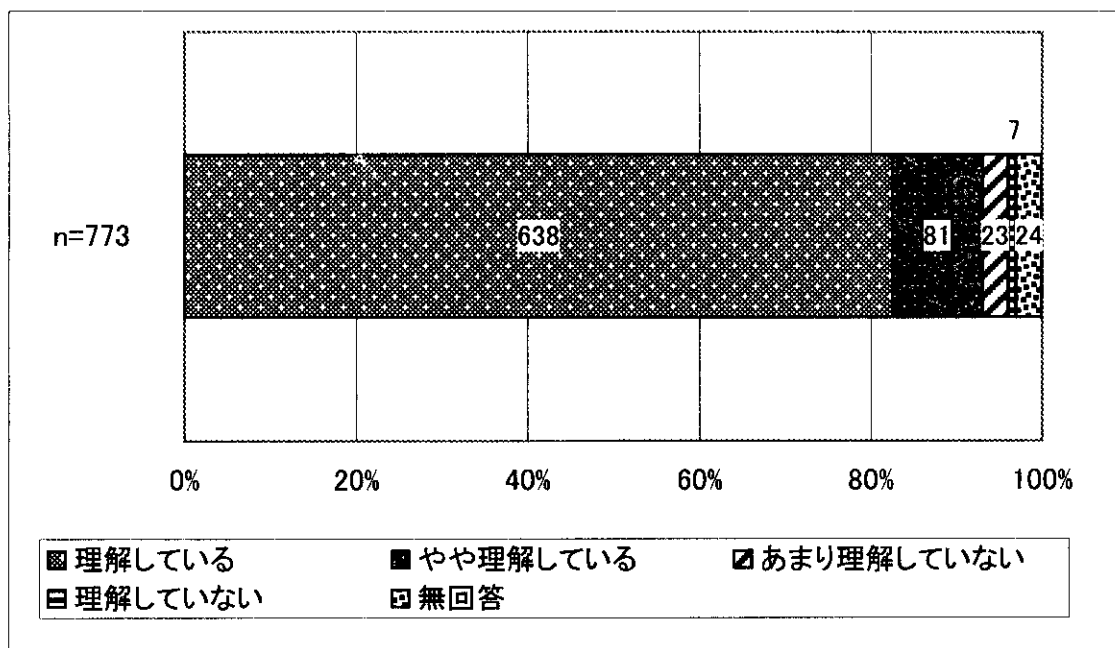
日常の診療以外で糖尿病の知識を得る手段としては、「テレビ・雑誌・新聞など」が70.0%と最も多く、次いで「家庭医学書や専門書」が29.2%、「友人、家族から」が27.7%などとなっている。

質問8① 合併症にどのようなものがあるか



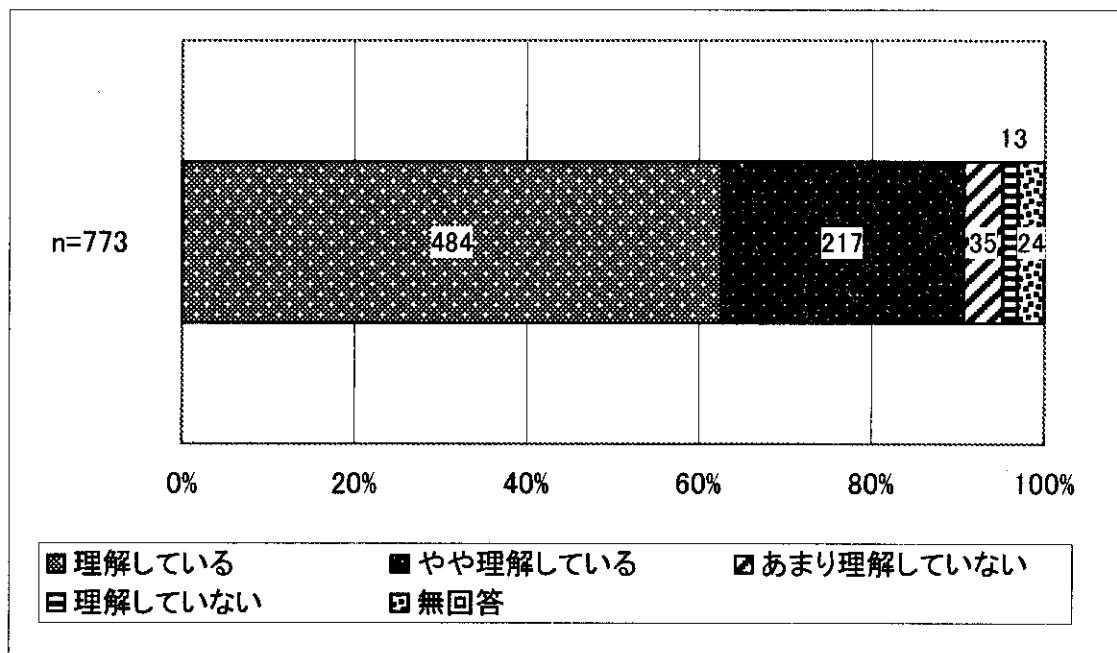
合併症にどのようなものがあるかについては、「理解している」が55.4%と半数を超え、次いで「やや理解している」が32.3%となっている。「(やや)理解している」は87.7%、「(あまり)理解していない」は10.1%である。

質問8② 定期的な通院の必要性



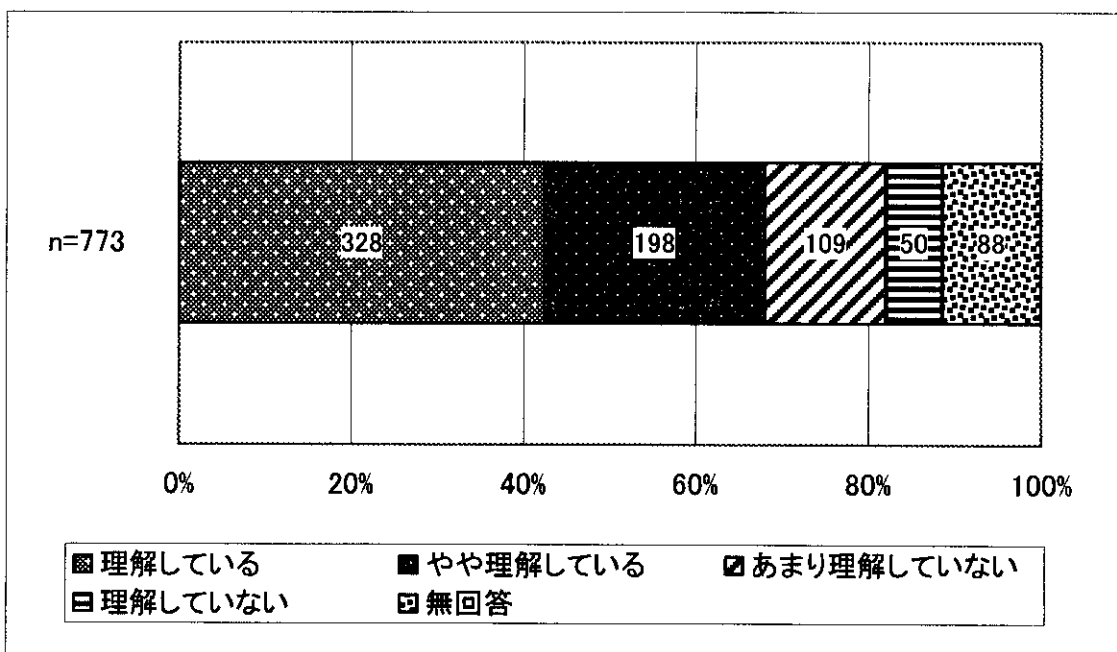
定期的な通院の必要性については、「理解している」が82.5%と大半を占め、次いで「やや理解している」が10.5%となっている。「(やや)理解している」は93.0%、「(あまり)理解していない」は3.9%である。

質問8③ 食生活や運動など日常生活の自己管理のやり方



食生活や運動など日常生活の自己管理のやり方については、「理解している」が62.6%と多く、次いで「やや理解している」が28.1%となっている。「(やや)理解している」は90.7%、「(あまり)理解していない」は6.2%である。

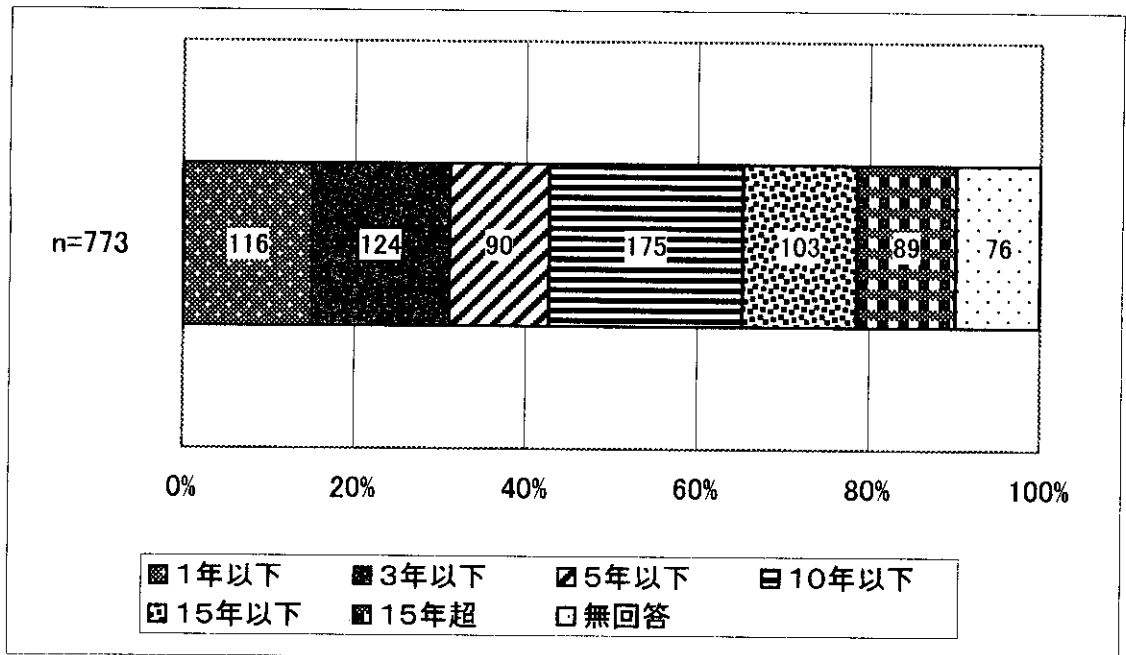
質問8④ 糖尿病の薬の効き方や副作用



食生活や運動など日常生活の自己管理のやり方については、「理解している」が62.6%と多く、次いで「やや理解している」が28.1%となっている。「(やや)理解している」は90.7%、「(あまり)理解していない」は6.2%である。

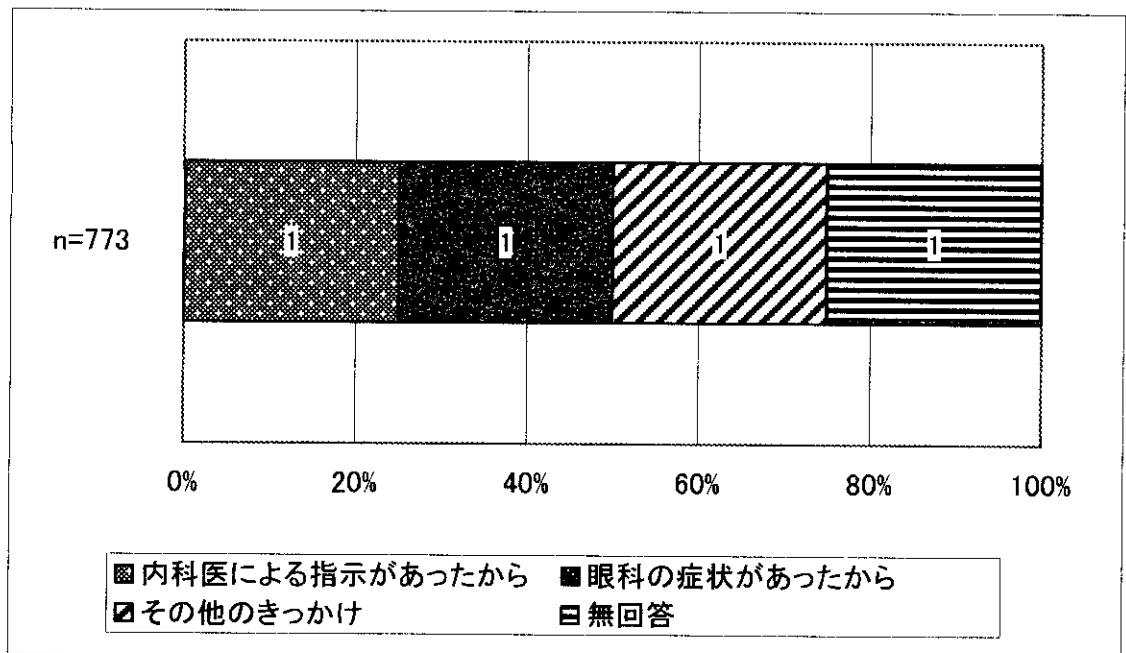
質問9 最初に眼科を受診した時期（年前）

調査数 平均
697 7.7



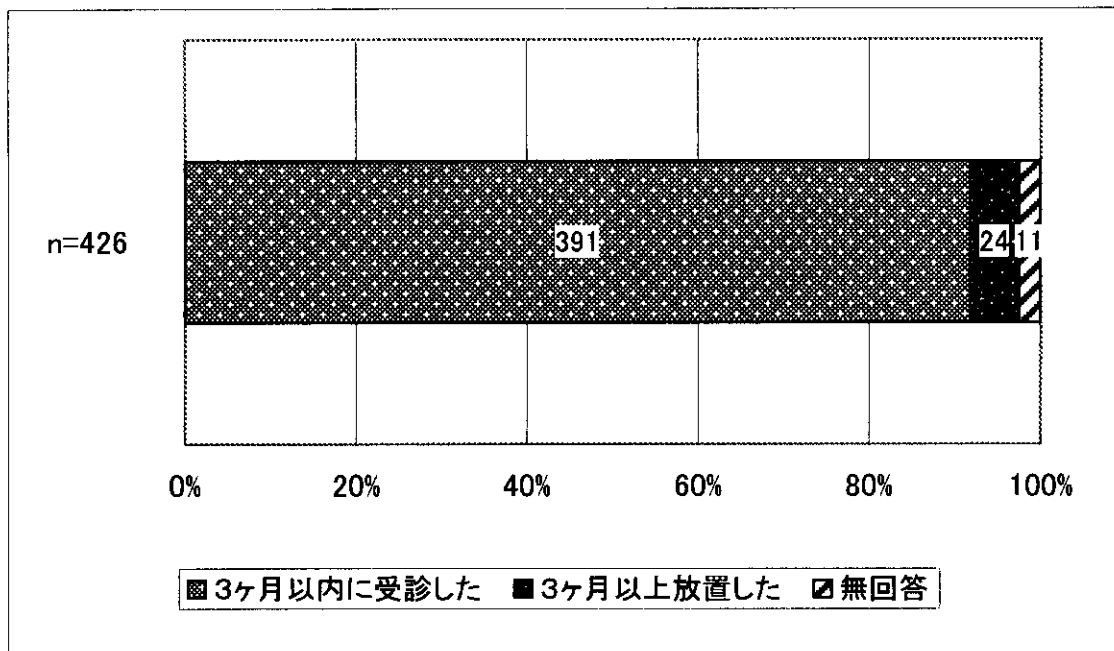
糖尿病の薬の効き方や副作用については、「理解している」が42.4%、「やや理解している」が25.6%などとなっている。「（やや）理解している」は68.0%、「（あまり）理解していない」は20.6%である。

質問10 最初に眼科医を受診したきっかけ



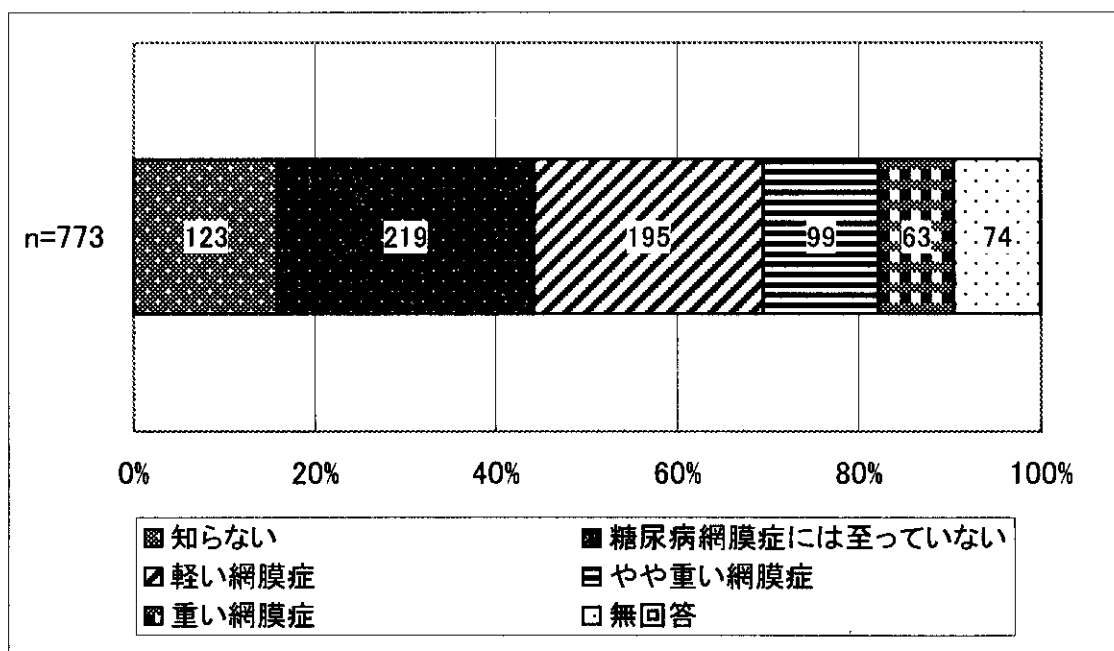
最初に糖尿病のために眼科医を受診したきっかけは、「内科医による指示があったから」が55.1%、「眼科の症状があったから」が28.3%となっている。

附問10-1 眼科受診を指示されてからの受診時期



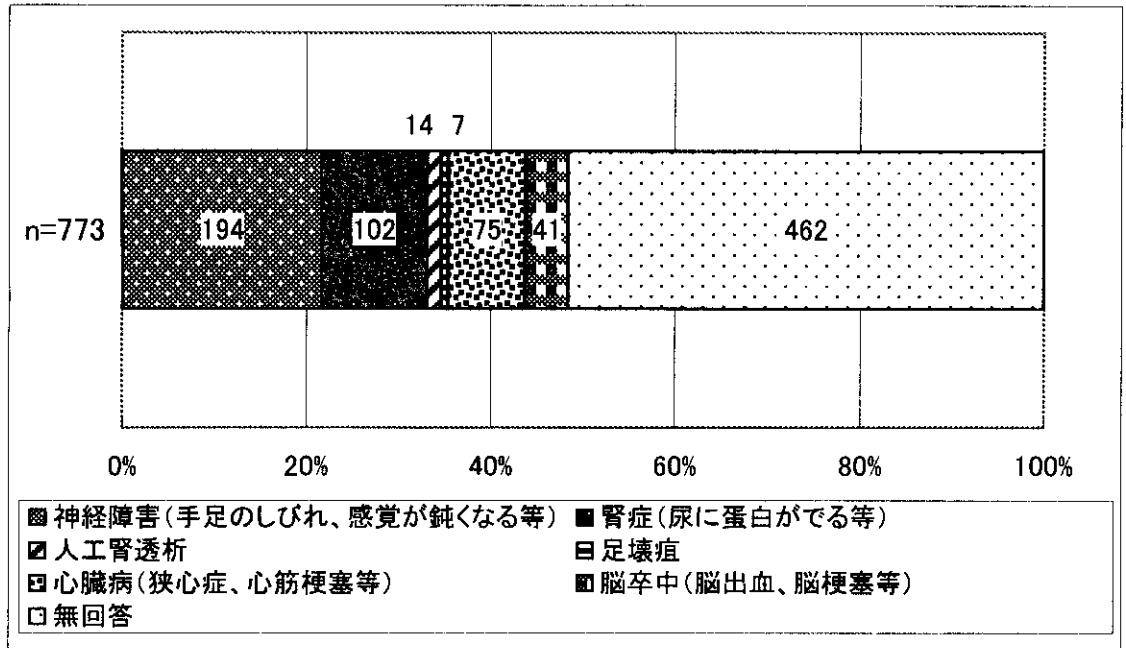
眼科受診を指示されてからの受診時期については、「3ヵ月以内に受診した」が91.8%、「3ヵ月以上放置した」が5.6%となっている。

質問11 自分が考える眼の状態



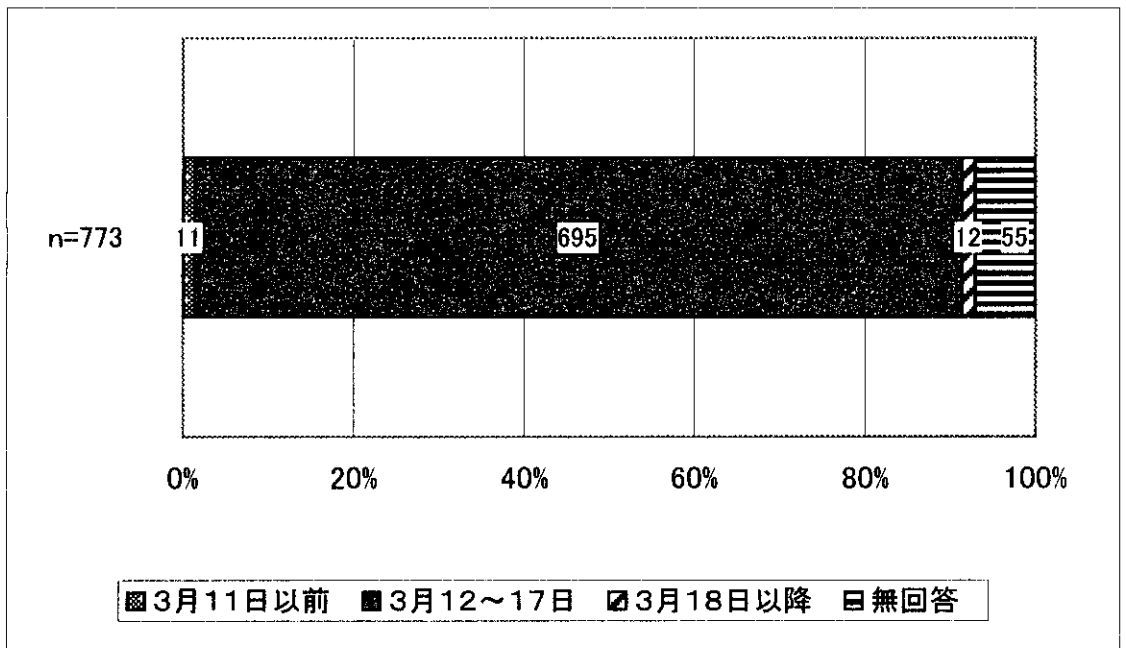
現在、自分が考える眼の状態は、「糖尿病網膜症には至っていない」が28.3%と最も多く、次いで「軽い網膜症」が25.2%となっている。一方、「知らない」は15.9%である。

質問12 かかっている合併症



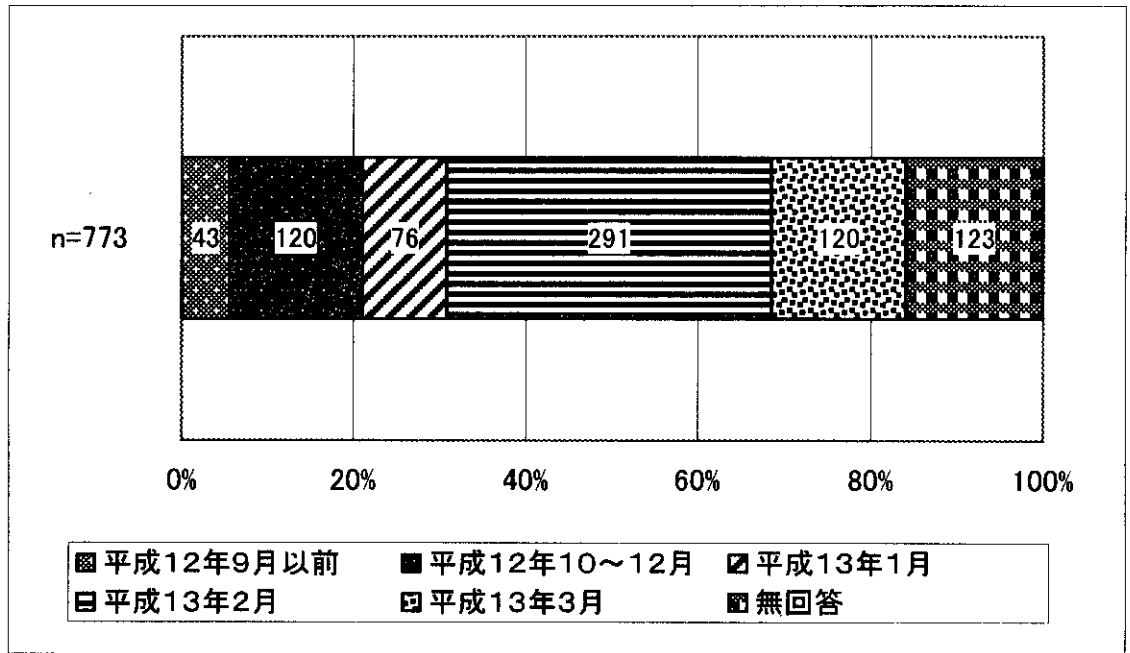
かかっている合併症は、「神経障害（手足がしびれる、感覚がにぶくなるなど）」が25.1%と最も多く、次いで「腎症（尿に蛋白がでているなど）」が13.1%、「心臓病（狭心症、心筋梗塞など）」が9.7%などとなっている。

記入日



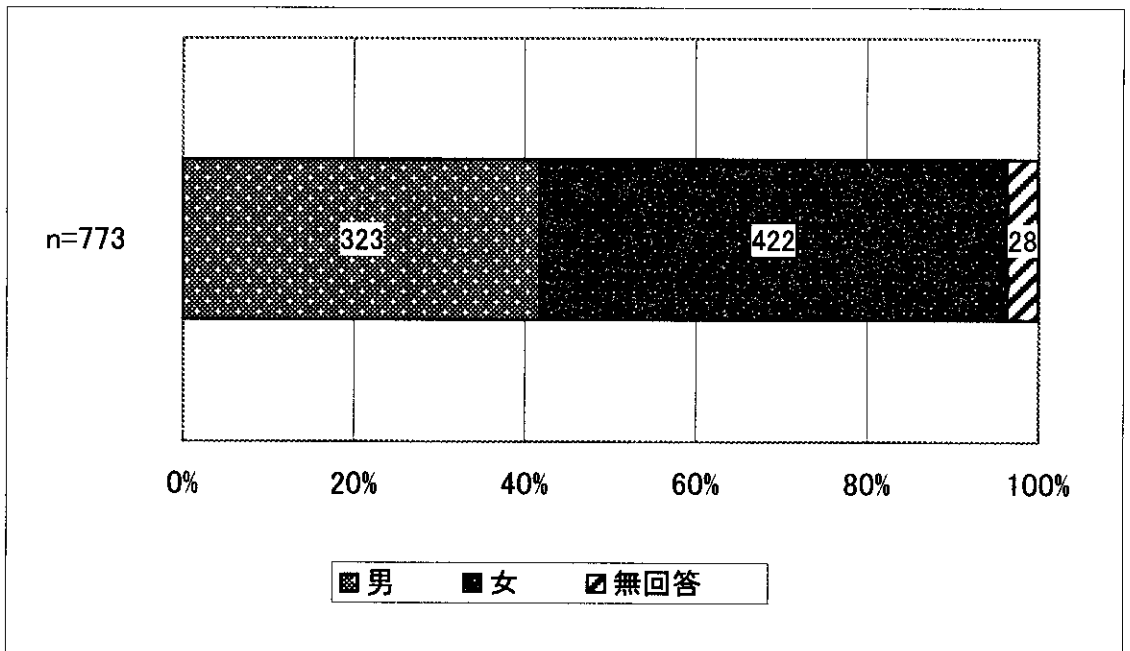
粗集計結果(内科受診患者)

前回の診察日



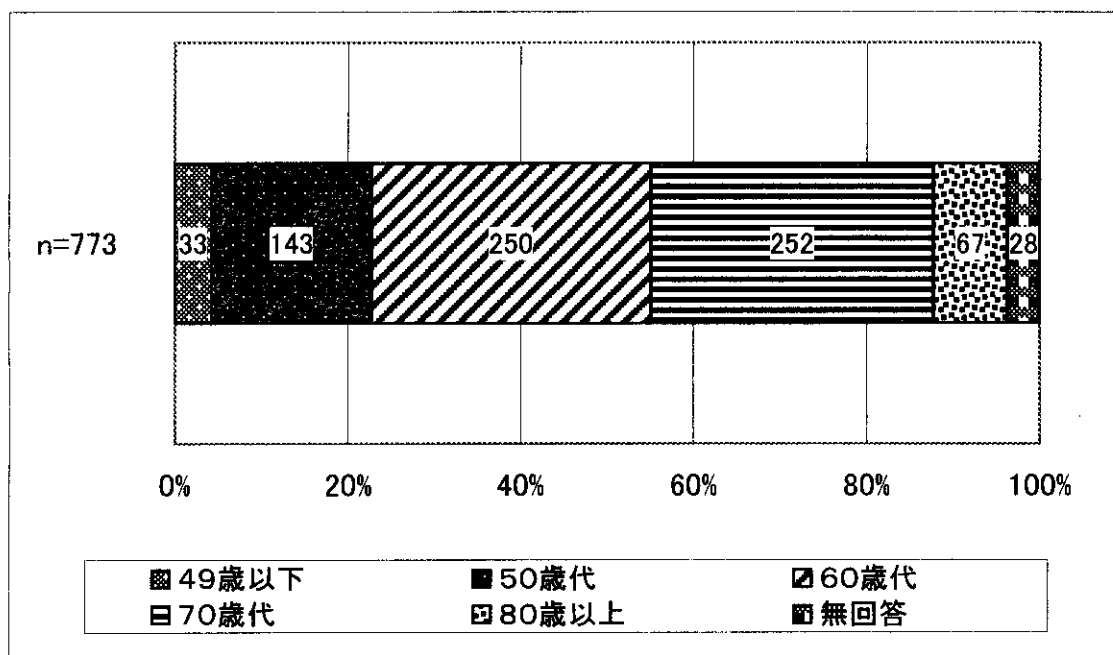
前回の診察日は、「平成13年2月」が37.6%、「平成12年10～12月」「平成13年3月」がともに15.5%などとなっている。

性別



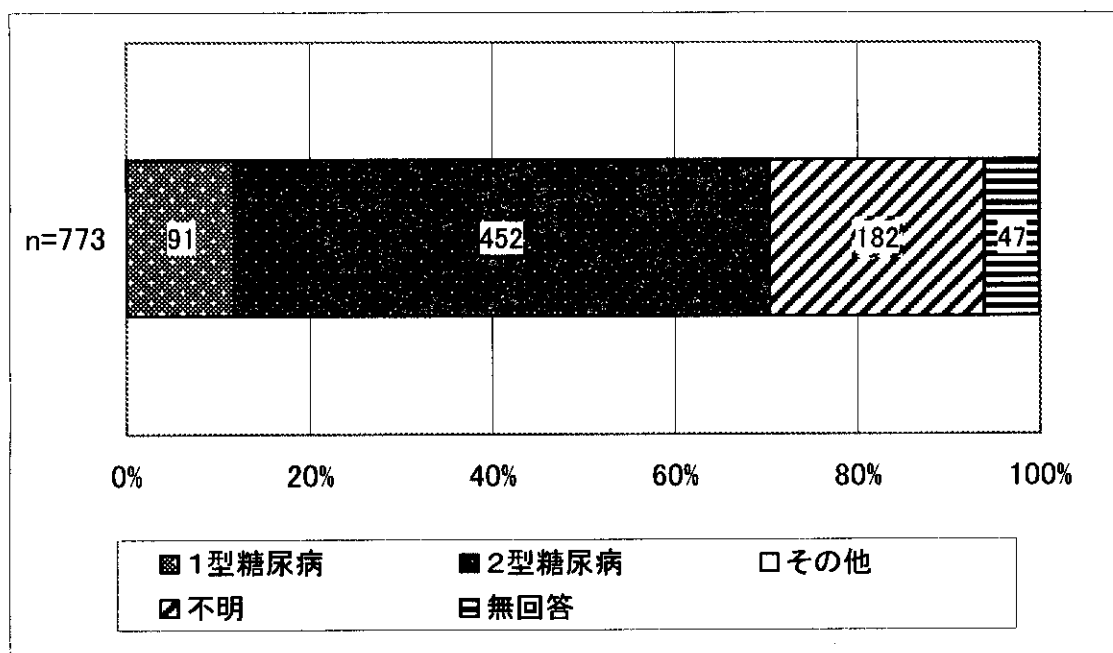
性別は、「男」が41.8%、「女」が54.6%となっている。

年齢 調査数 平均
745 66.8



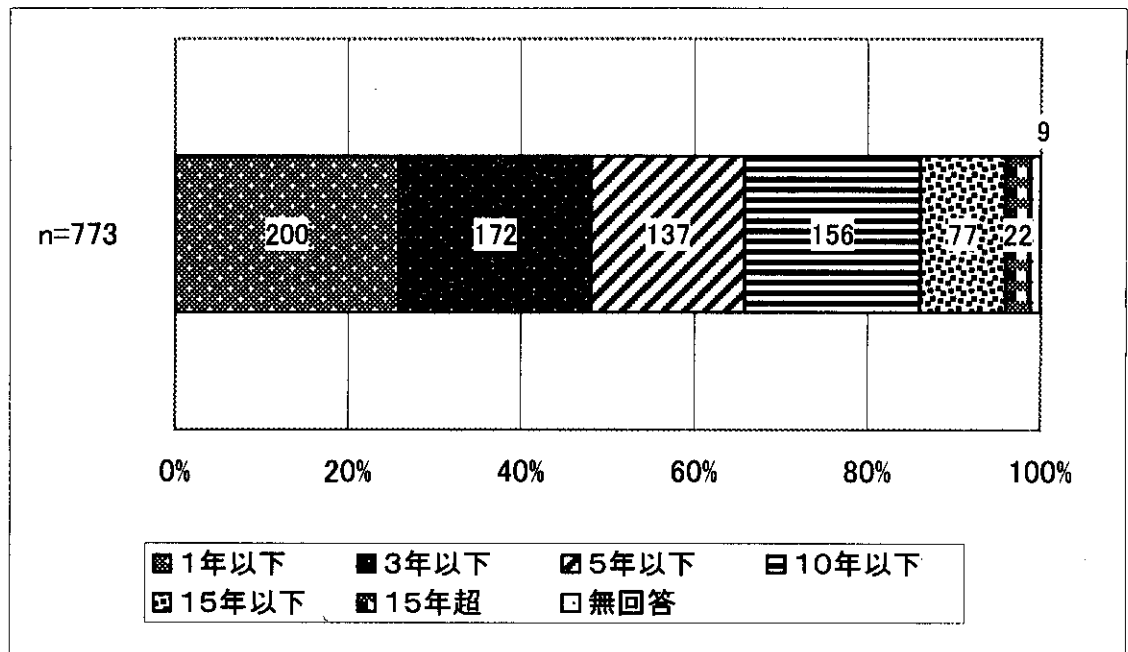
年齢は、「70歳代」が32.6%、「60歳代」が32.3%、「50歳代」が18.5%などとなっている。平均は66.8歳である。

糖尿病の病型



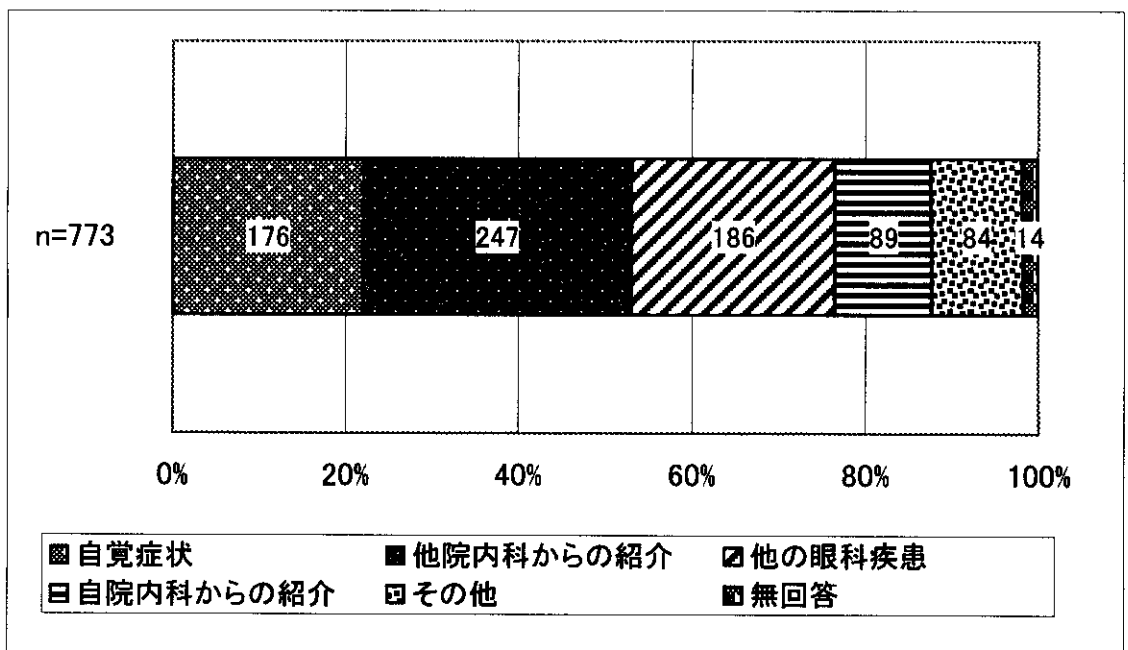
糖尿病の病型は、「2型糖尿病」が58.5%、「1型糖尿病」が11.8%、「不明」が23.5%などとなっている。

当科初診日（年前） 調査数 平均
764 4.4



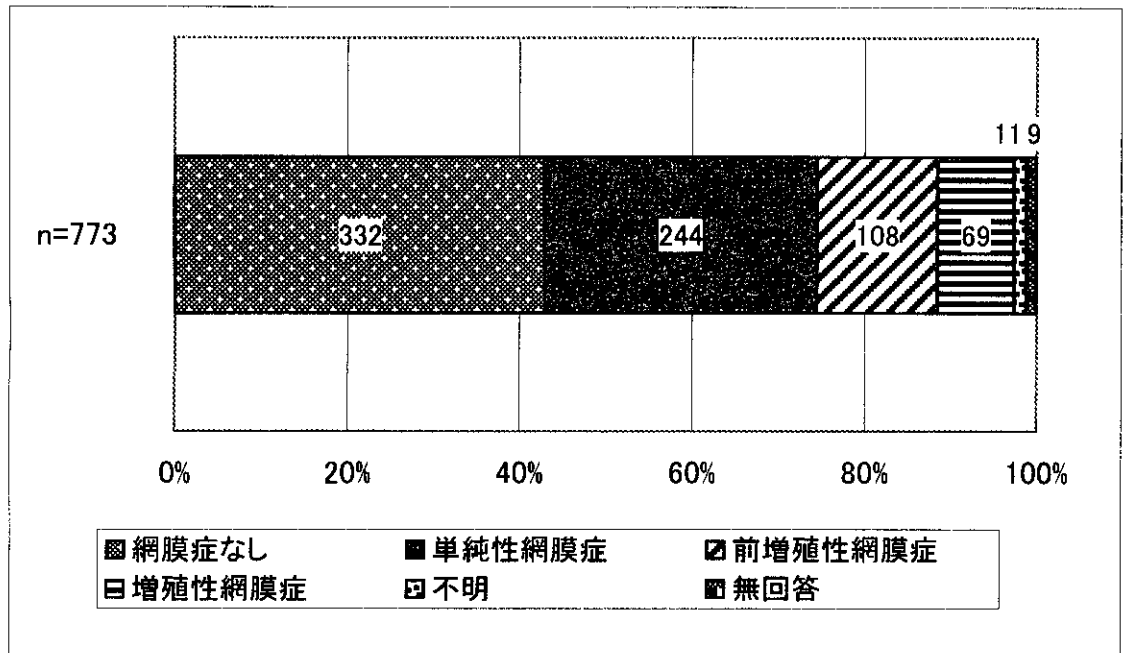
当科初診日（年前）は、「1年以下」が25.9%、「1年超3年以下」が22.3%、「5年超10年以下」が20.2%などとなっている。平均は4.4年前である。

当科受診のきっかけ



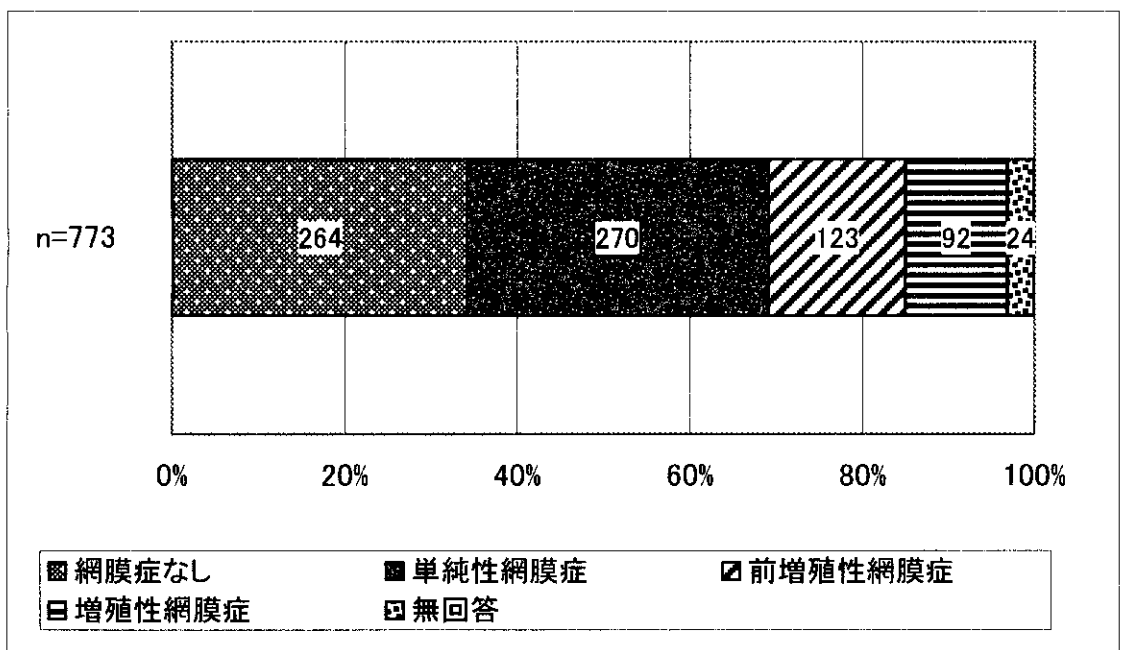
当科受診のきっかけは、「他院内科からの紹介」が32.0%と最も多く、次いで「他の眼科疾患」が24.1%、「自覚症状」が22.8%などとなっている。

当科初診時の網膜症重症度



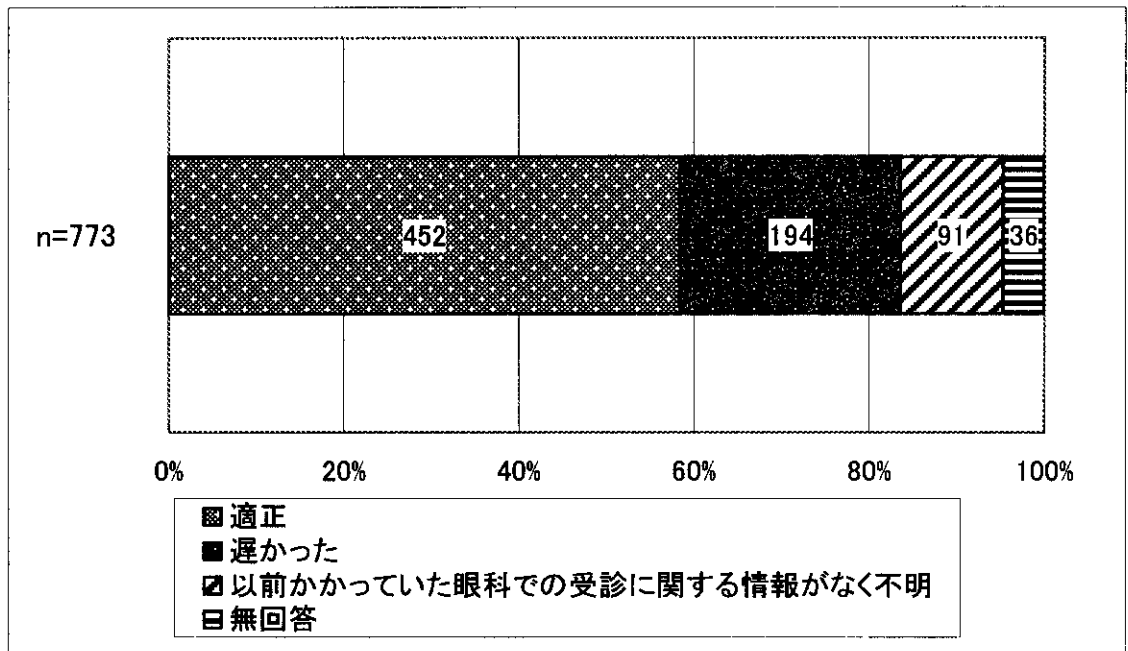
当科初診時における網膜症重症度は、「網膜症なし」が42.9%と最も多く、次いで「単純性網膜症」が31.6%、「前増殖性網膜症」が14.0%などとなっている。

現在の網膜症重症度



現在の網膜症重症度は、「単純性網膜症」が34.9%、次いでほとんど差はなく「網膜症なし」が34.2%となっている。「前増殖性網膜症」は15.9%、「増殖性網膜症」は11.9%である。

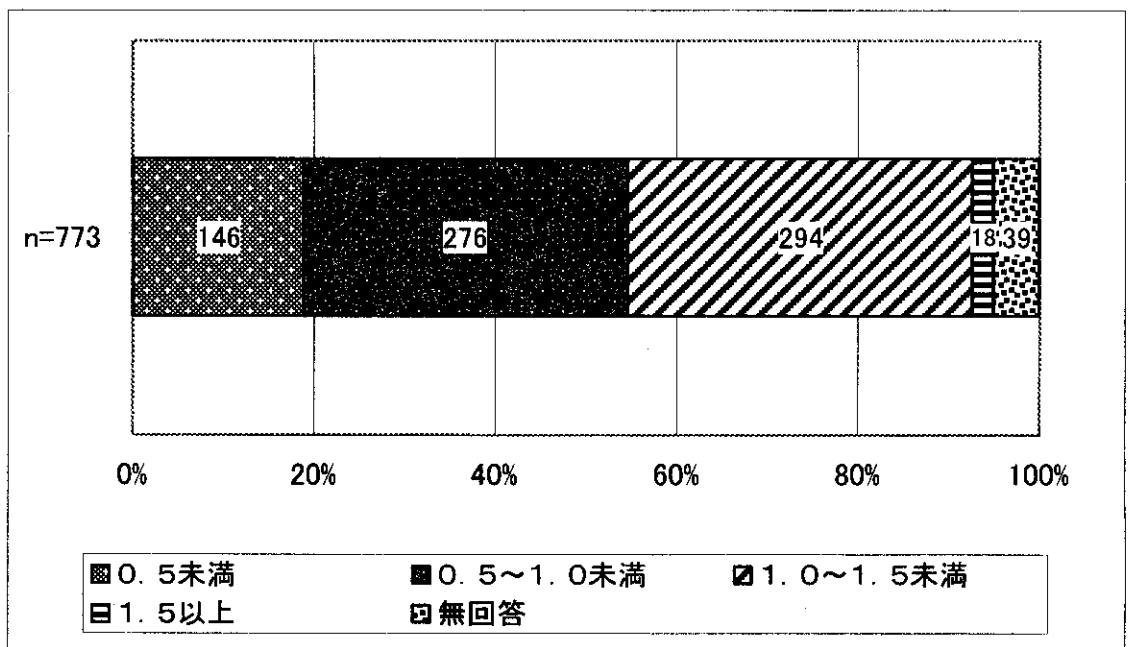
糖尿病網膜症についての眼科初診タイミング



糖尿病網膜症についての眼科初診タイミングは、「適正」が58.5%、「遅かった」が25.1%となっている。

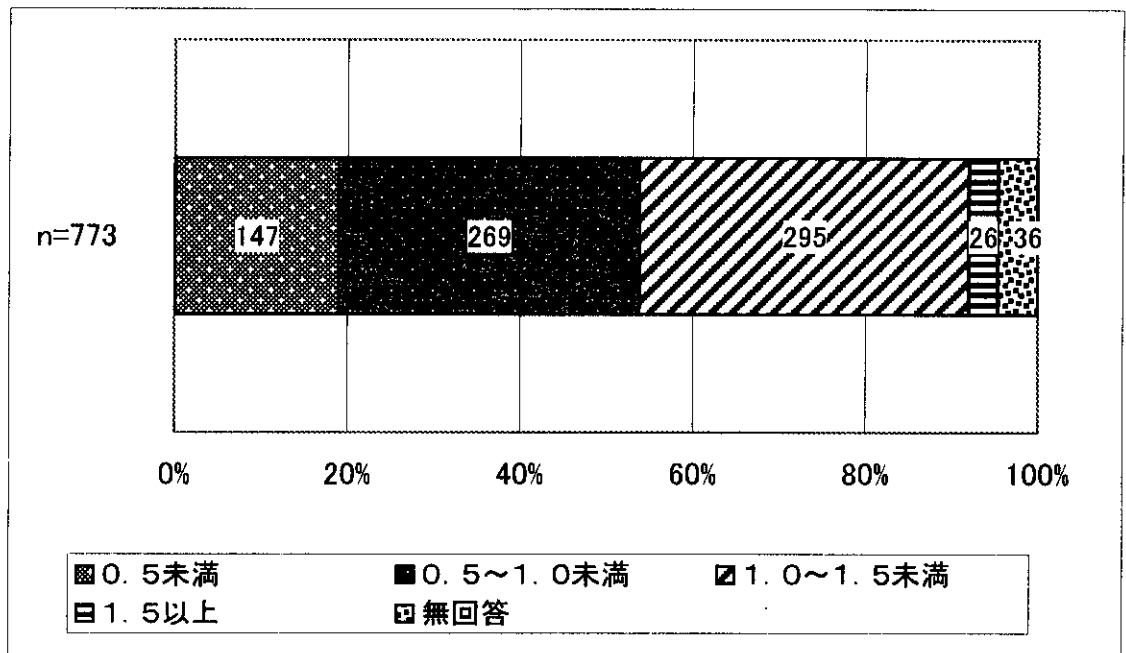
現在の矯正視力 (右)

調査数 平均
734 0.8



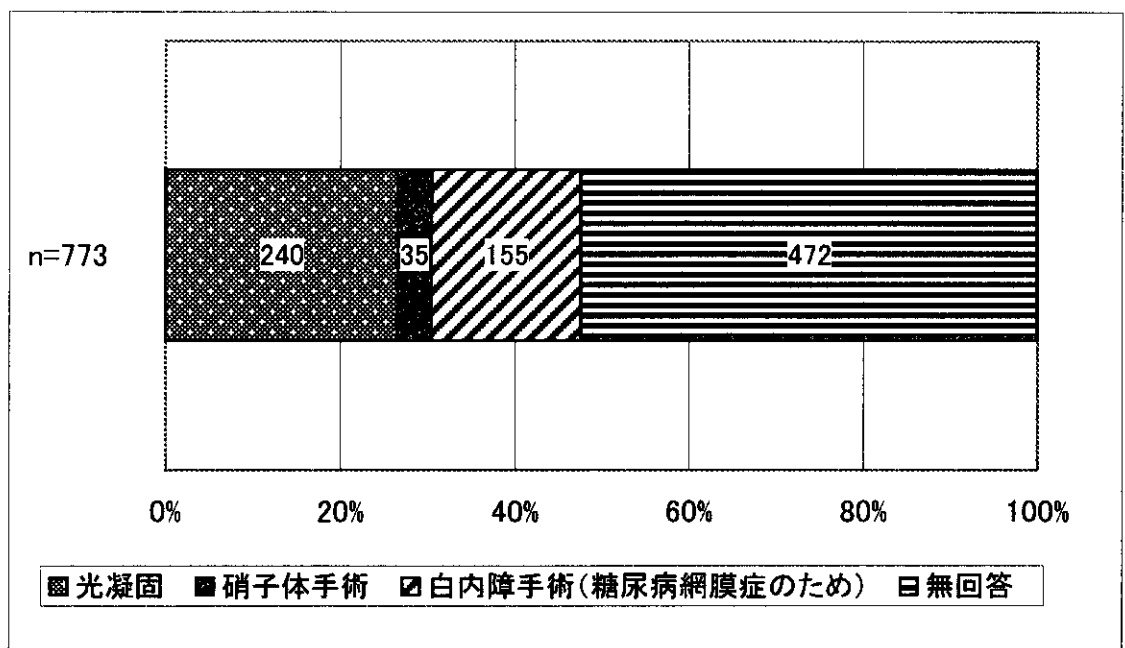
現在の矯正視力（左）

調査数 平均
737 0.8



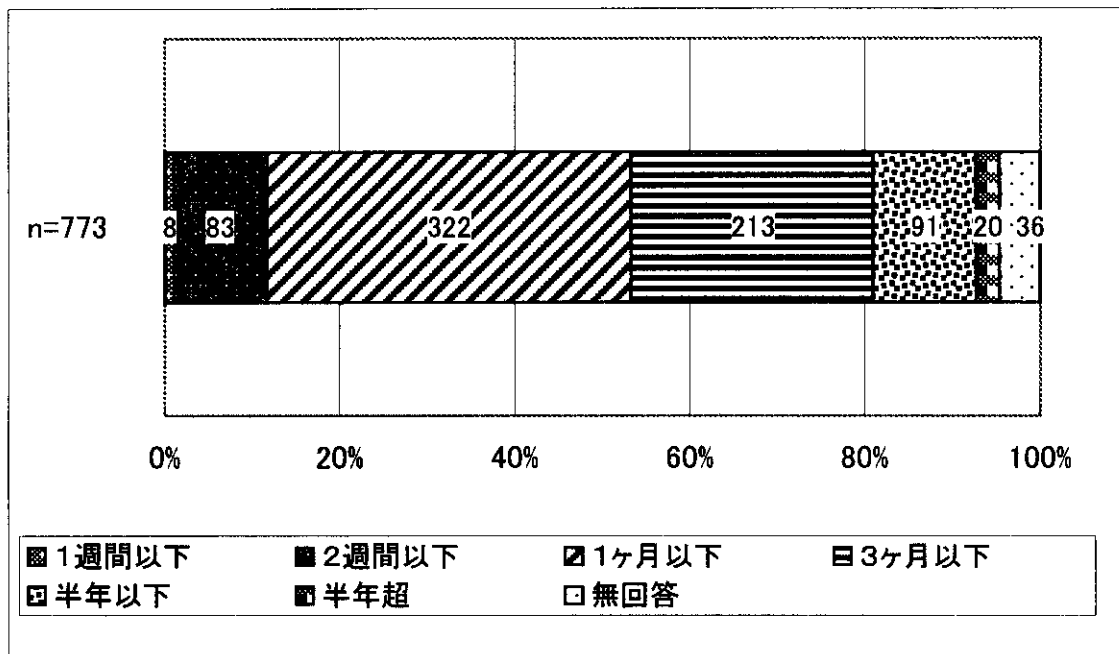
現在の矯正視力は、右眼については「1.0~1.5未満」が38.0%、「0.5~1.0未満」が35.7%、左眼については「1.0~1.5未満」が38.2%、「0.5~1.0未満」が34.8%などとなっている。平均視力は左右いずれも0.8である。

処置の既往



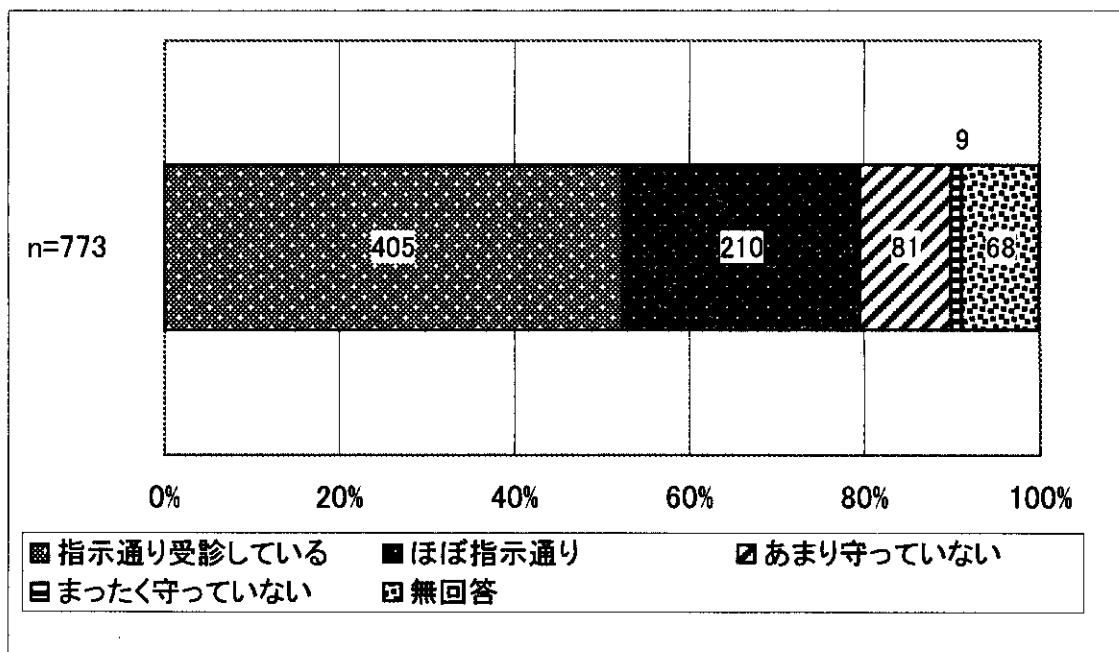
処置の既往は、「光凝固」が31.0%、「白内障手術（糖尿病網膜症のため）」が20.1%、「硝子体手術」が4.5%となっている。

指示している受診間隔（週毎）調査数 平均
737 8.9



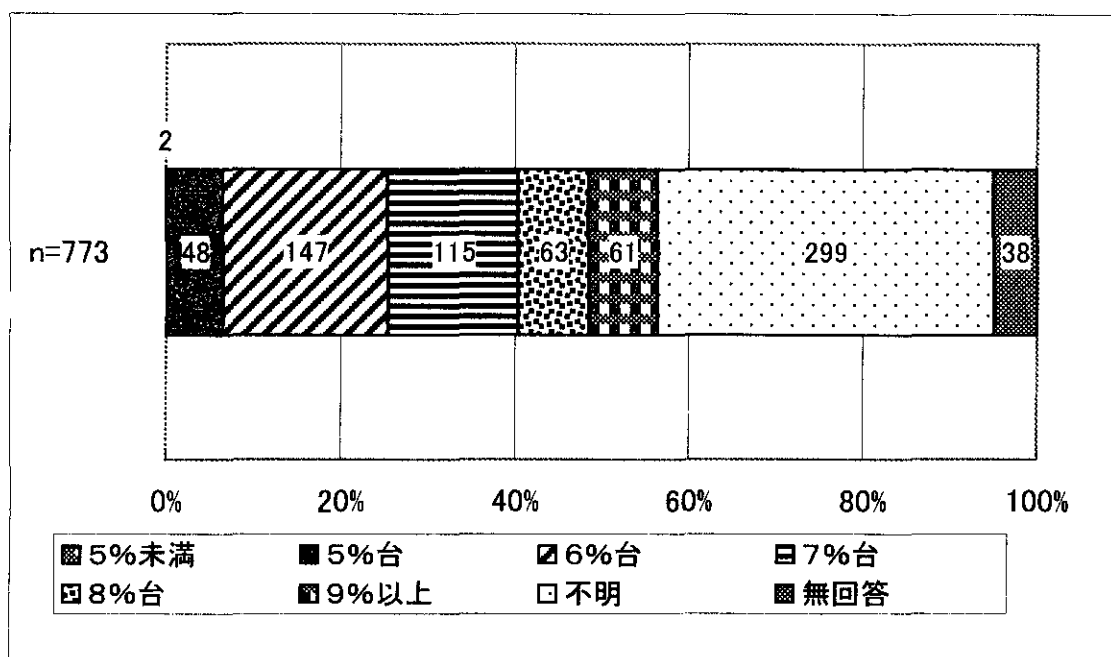
指示している受診間隔は、「2週間超1ヵ月以下」が41.7%、「1ヵ月超3ヵ月以下」が27.6%などとなっている。平均すると8.9週毎となる。

当科受診状況



当該患者の当科受診状況は、「指示通り受診している」が52.4%と約半数で、次いで「ほぼ指示通り」が27.2%となっている。

最近のHbA1c 調査数 平均
436 7.4



最近のHbA1cは、「6%台」が19.0%、「7%台」が14.9%などとなっている。平均は7.4%である。